

2016 年度事業報告

「食べ物をたいせつにし、互いを支えあう社会をつくりたい」との思いを持って取り組んで5年。大阪堺市でフードバンク活動を行い、あらためてふーどばんく OSAKA が注目された1年でした。

1. 食品提供サービス事業

- ① 社会福祉法人が運営する児童養護施設、母子支援施設、障がい者・児支援施設、特別養護老人ホームなどへの配送が多くありましたが、活動を重ねていくとDVシェルター、ホームレス支援団体、外国人支援団体、刑余者支援団体、小規模作業所、キリスト教系施設など、小規模で公的な支援を受けることのできない団体・施設から、口コミやホームページ、をみての問い合わせで、食品提供が実現しました。また、今年度の特徴として、こども食堂実施団体への食品提供も実現しました。
- ② 昨年度に引き続き、各市町村に設置されている「生活困窮者自立支援相談窓口」をつうじて、今日食べるものがないなどの相談者へ、食品提供をおこないました。
- ③ 2016 年度の大きな特徴として、食品関連企業の倒産による食品を「ひろがるえがおプロジェクト 2016」を実施し、多くのこども達へお菓子やジュース、アイスクリームなどを届ける事ができました。
- ④ 2016 年度の食材提供サービス事業は 195 団体(施設)に行うこととなりました。

2. 余剰食材回収サービス事業

- ① 余剰食材回収サービス事業は、229 の団体・個人から、134 トンの食品の提供をうけました。今年度も、大型量販店より、パン・果物・野菜を、24 トンの提供を受け、あわせて 158 トンの食品の提供をうけました。
1 kgあたり 600 円の評価額とすると 94,800,000 円分の食品をとどけたことになります。
4 年目は、企業や個人からの定期的な食品の提供が増えました。特に個人の方からの食品提供が前年度に比べ飛躍的に増加しました。また引き続き友好団体であるセカンドハーベスト名古屋やフードバンク関西・セカンドハーベストジャパンからも食品のシェアをうけたこと、また、食品関連企業の倒産による食品の引き取りが、約 34 トンあり、結果上記の量と金額の活動を行うことができました。
- ② イベントなどにおいてフードドライブを実施しました。多くの個人からの食品提供を受けることができました。

3. 会員とボランティア

- ① 2016年度の会員は、正会員22名。賛助会員2名でした。
- ② 2016年度の新たなボランティア登録は3名と1団体でした。

4. 広報活動

- ① ホームページの充実と適宜更新をおこないました。
- ② フェイスブックの適宜更新をおこないました。フォロワー数は、321人となっています。
- ③ 大学生のボランティアの受け入れなどを積極的におこないました。
- ③ 11月にはAIAIフェスタへ、5度目の参加をおこないました。AIAIフェスタではパネル展示とフードドライブを実施しました。
- ⑥ 各府、市町村議員の視察の受け入れをおこない、フードバンク活動の必要性をうたえました。
- ⑦ 各種団体等へフードバンク活動についての講演をおこないました。

5. その他

- ① 熊本地震の緊急支援行動をおこないました。
- ① 株式会社HRCより、車両、「トヨタ・ハイエース」をご寄贈いただきました。
- ② オリックス宮内財団より、中温冷凍車「日産・キャラバン」をご寄贈いただきました。
- ③ 「ひろがるえがおプロジェクト2016」の取り組みをテレビや新聞で、取り上げていただきました。
- ④ 堺市主催のこども食堂円卓会議へ参加し、様々なこども達の支援をおこなう団体等と交流を図り、こども食堂の継続支援について学びました。
- ⑤ 堺市NPOマーケティング講座に参加し、NPOの運営について学習しました。
- ⑥ 他のフードバンク団体との交流を行いました。食品のシェアだけでなく、互いのイベントへの参加、情報交換会を実施しました。
- ④ 大阪市・北摂・河内・泉州・守口の5ヶ所のふーどばんく OSAKA のサテライト（拠点）の運用を始めました。
- ④ 事務局体制・ボランティアの充実に取り組みました。